

令和5年度 公開授業が開催されました

12月に公開授業を開催いたしました。実際の授業を拝見して、教員の様々な工夫・問いかけ・学生の主体的な学びの様子…様々な観点から学ぶことのできる実り多い時間となりました。授業の公開を快くお引き受けくださった、伊藤潤一郎先生、ありがとうございました。当日の授業の様子とご参加くださった皆様からのご意見の一部をご紹介します。

なお、FD委員会では引き続き、教員相互の学びのための公開授業をすすめてまいります。ぜひ多くの先生方に、授業公開・参加していただけますようお願いを申し上げます。

【日時・場所】12月13日（水）4限 コモンズ3号館5105教室

【教職員参加者数】11名

【授業科目】哲学・倫理学

【担当教員】国際地域学部 国際地域学科 伊藤 潤一郎 講師

【対象学科・学年】国際地域学部国際地域学科比較文化コース 2年生

【テーマ】第11回 ヘーゲル—国家

【授業概要】

社会契約論を批判するヘーゲルの共同体論において、国家がいかに位置づけられているかを考える。

【当日の授業概要】（12月13日公開授業）

前回の講義に対する、学生の意見や質問に対する回答や補足を行ったうえで、本日のテーマの説明ののち、ヘーゲルの共同体論における、国家の位置づけについて解説が行われました。解説では、テーマを理解するために必要な用語を平易な言葉で言い換え解説する、ヘーゲルと同じ時代を生きたベートーヴェンの楽曲の在り方を挙げる、学生に身近な漫画・アニメーションを例示する、などの手法を巧みに取り入れることで、学生たちは、当該テーマについて哲学的にとらえ、思考を深めていました。

参加者アンケートより（一部抜粋）

【1. 今回の授業の感想をお聞かせください。】

- ・ It was an interesting lecture. The lecturer was able to make his lessons relevant to students by explaining important ideas and concepts about philosophy.
- ・ とても良かったと感じます。内容は深いですが、わかりやすく学生に伝えられており、とても勉強になりました。前回の内容へのフィードバックから始め、復習と議論の目的を兼ね備えている点が素晴らしい。

と思います。ヘーゲルがベートーヴェンを言及しない点が面白いです（笑）。ソナタ形式と弁証法の関係についても興味深いですね。

- ・ 前回の授業のフィードバックが丁寧に行われていたので見習いたいと思いました。また、映像や写真などは多く用いられていませんでしたが、むしろ学生が授業を集中して聞いている印象を受けました。真似できるとは思いますが、先生の授業の内容が面白いからこそできることなのではないかと思いました。授業の中で雑談を取り入れることも、学生の集中力を高めるためには重要だと思いました。

【2. 今回の授業を参観して、ご自身の授業をどのように振り返られましたか。また、授業に生かしたいと思ったことなど、御自由に御記入ください。】

- ・ フィードバック→当日の授業に入る、といった授業の流れや、言葉の定義の説明の時に、昨今話題を取り入れられている点など、私も授業に生かしたいと思いました。人気漫画のくだりは、私もすっかりしました。スライドの文字の大きさも、見やすく、参考にさせていただきたく存じます。
- ・ I will be gentle in my speech and provide the relevant information to pique students' interest in learning.
- ・ フィードバックの方法が勉強になりました。特徴あるフィードバックをいくつか抜粋して復習するとともに、授業の内容に繋がられるように努力したいです。また、私自身は映像や写真を多く使っていますが、それよりも話の内容で学生の興味を引き付けられるような授業を行えるようになりたいと思いました。
- ・ 学生のフィードバックを読み上げて質問に答えるのはとてもいい試みだと思った。是非取り入れたい。